

**みやぎNPO夢ファンド(C)スタートアップ支援プログラム
平成19年度助成事業 最終報告書**

書式 4

2007年11月12日

団体名	特定非営利活動法人都市デザインワークス
事業名	仙台まちづくりカフェ
連絡担当者お名前(ふりがな)	榊原 進(さかきばら すすむ)
担当者 電話	F A X
E-Mail	
<p>助成金を使って行った事業について、ご記入ください。 仙台まちづくりカフェ “カフェ”とは、人と人が出会い情報が交わされる場。 まちづくりについてそんな交流の場を仙台につくろう！と 仙台を拠点に活躍するまちづくりNPOが集結。 まちへの熱い想い、現場での経験、多彩な情報が集まれば、 地域のどんな課題も、解決の糸口が見つかるはず！！</p>	
期 間	平成19年年7月28日(土)～8月10日(金) 毎日11時～20時
場 所	壱弐参(いろは)横丁 まちの駅
主 催	特定非営利活動法人都市デザインワークス/ 仙台まちづくりカフェ2007実行委員会
共 催	特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラム/片平たてもの応援團 まち遺産ネット仙台/特定非営利活動法人まちづくり com
参 加 団 体	特定非営利活動法人コミュニティ/ 仙台・国見おたから研究会/長町まざらいん
協 賛	炭火焙煎珈琲 楓屋
後 援	仙台市/仙台商工会議所/ 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
内 容	<p>まちカフェ アラカルト 参加するまちづくりNPOをパネルなどで紹介。その他、参加団体によるイベントを実施。 来場者には「参加団体紹介パンフレット」を無料配布し、了解を得た方にはアンケートに記入いただいた。 たまたま通り掛かった方からまちづくりに関心がある方まで約250人が来場。そのうちアンケートに記入していただいたのは60人。</p>
	<p>まちカフェ ナイト・セッション 横丁の魅力や可能性について、市民の目線で語り合うトークセッション。 ・8月3日(金)：横丁になぜハマる!?: 有料参加者23名 ・8月10日(金)：横丁でどう遊ぶ!?: 有料参加者16名</p>
	<p>ホームページによる情報発信 「仙台まちづくりカフェ」のホームページを開設し、期間中仙台まちづくりカフェの様子を紹介。期間終了後は、参加団体の情報発信ツールとして活用。</p>
<p>詳細は「仙台まちづくりカフェ開催報告チラシ」をご覧ください。</p>	

今回の事業によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

団体(参加団体含む)の活動にとって

- ・ 参加団体、特に実行委員会メンバー同士の交流のきっかけとなり、各団体の活動内容についてより詳細に知ることができた。というのも、実行委員会での意見交換はもちろん、仙台まちづくりカフェ期間中は来訪者に所属団体以外の団体を紹介するため、他団体の活動についてもより深く理解する必要がある。実際に、参加団体同士が連携しようという動きも出てきている。
- ・ 参加団体について初めて知ったという来場者も多く、参加団体の情報として「参加団体紹介パンフレット」を作製し多くの方に配布できたことは、PRにつながった。
- ・ 来場者との対話やアンケートから、まちづくりに関して困っている人が少なからずおり、どこに相談に行けばわからないと悩んでいることが再認識できた。

地域社会にとって(来場者アンケートのコメントから引用)

- ・ まちづくりに興味があったので、今回このようなイベントを開いてもらって良かった。
- ・ 仙台で行われている様々なまちづくりを知る事ができました。
- ・ たくさんの資料があって参考になった。
- ・ もっとこのような情報を出している場所が街の各地にあると良いと思う。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。

また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

情報発信力の強化

- ・ 長いところで10周年を迎える団体も参加したが、まだまだ市民に知られていないことを思い知らされた。また、会場がある壱弐参(いろは)横丁も、仙台市民なら当然知っているだろうと思っていたが、知名度がそれほど高くないようだった。各団体の情報発信/PRの不足は否めない。
- ・ 地道に情報発信を続けながら情報発信力・PR力を強化することは各団体の共通課題である。同時に、相互連携による情報発信によるシナジー効果を獲得できるような取り組みも必要となっている。

まちづくりに対する市民の悩みや想いを引き出す仕組み(スキル)の開発

- ・ 参加団体の情報を提供するというのが主目的であったが、“カフェ=人と人が出会い情報が交わされる場”を実現するためには一方的な情報提供だけでなく、来場者のまちづくりの悩みや想いを引き出す必要があった。
- ・ “まちづくり”という大きなテーマで市民が自分の問題として捕え難いという面はあるものの、そのための仕組みの開発やスキルを磨く必要がある。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。

また、その際に必要なものは何ですか。

- ・ 来場者アンケートにも「参加団体がお互いに連帯して、力を発揮している。今後もこのような企画を毎年企画してください」と継続を望む声が数通寄せられ、次年度以降も恒例行事として継続して行く予定である。
- ・ 数年間継続していくことで、参加団体の輪を広げつつ、団体同士の関係をさらに深め、県内のまちづくりNPOの緩やかなネットワークを構築し、「まちづくりヨロズ相談所(仮称)」の設立・運営や個別の団体では対応できないような比較的規模の大きなまちづくりの課題に共同で取り組んでいきたい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算(円)	決算(円)	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	200,000	200,000	
団体参加費*	10,000	28,000	3千円*6団体+5千円*2
企業協賛金	50,000	20,000	1社寄付（1社コーヒ-豆等提供）
資料費	50,000	11,700	ナイトセッション資料代300円*39人
物販手数料*	-	3,190	参加団体からの販売手数料10%
補填費	-	221	不足分を当法人運営費から充当
合計	310,000	263,111	

*の項目には当法人が参加団体として負担した金額を含む

支出の部

項目	予算(円)	決算(円)	備考
会場費	100,000	65,400	4千円*16日+100円*14日
		4,000	ナイトセッション500円*4時間*2回
パンフ印刷費	150,000	107,800	団体紹介パンフレット3,500冊*30.8円
		16,200	実施概要リーフレット2,000枚*8円
チラシ印刷費	30,000	16,000	PRチラシ2,000枚*8円
文房具等購入費	30,000	19,427	模造紙、パネル等
資料等印刷費	-	20,704	展示パネル3千円*10枚、北-代
講師謝金	-	10,000	ナイトセッション講師5千円*2人
郵送費	-	3,580	チラシやデータ等の送付代
合計	310,000	263,111	

寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

- ・ ありがとうございました。仙台まちづくりカフェの動機づけになりました。